

新任教員自己紹介

本年7月以降に着任された先生方を紹介します。ただし、投稿者だけです。

①授業科目②研究分野③趣味④香川県・香川大学の印象⑤学生へのメッセージ

教育学部 教授 武藏 博文 (むさしひろふみ)



- ①学部:障害児の指導法、障害児心理アセスメント論、障害児心理学演習
大学院:アセスメント特論、行動分析特別演習
- ②発達障害児者の学習支援・地域生活支援
- ③何でも首を突っ込むこと
- ④温暖な気候、青い空、瀬戸内に浮かぶ島々、優しい配慮

⑤若い人たちはたくさん時間を持っています。やる気になれば、何でもやれます。学ぼうと思えば、いくらでも学べます。その若さを大切に。

医学部 助教 金星華 (きんせいいか)



- ①生化学
- ②脂質生化学、酵素学
- ③読書
- ④高松は人口があまり多くなく静かな町で、新鮮な魚や野菜も多くて物価も良心的なので、生活しやすいと感じています。7月1日付で医学部の助教に就任し、医学の教育と研究に携わる機会を頂きましたので、微力ながら

全力で取り組みたいと思っています。今後とも宜しくお願い申し上げます。

⑤勉学に励み、充実した学生生活を過ごして下さい。

医学部 助教 谷 守通 (たにもりみち)



- ①小児外科学
- ②小児外科学一般
- ③テニス、卓球、呑むこと?など
- ④立派な道路がたくさんできた。
- ⑤勉強も大切ですが、学生時代しかできないことを精一杯頑張ってください。ところで、小児外科はまだまだ知名度も低く、大変なことたくさんありますが、やり甲斐(だけは、というツッコミは勘弁ね)は大きいです。学生(医学部以外も)の皆さんには小児外科のことを少しでも知っていただけると嬉しいです。それとマンパワ

ー確保のため出来れば香川に残って欲しいですね。

医学部附属病院 助教 岡添 誉 (おかぞえほまれ)



- ①泌尿器科学
- ②前立腺癌
- ③ゴルフ、野球、ドラム
- ④大学に入学したときから数えると香川県に来て13年目になりました。高知県出身の私から言うと香川の印象は気候も含め「おだやか」な感じです。香川大学は母校

でもあり、医療面・研究面においても発展のため努力していきたいと考えています。

⑤学生さんとのかかわりは主に臨床実習の時となりますが、気になることや興味があることがあれば何でも気軽に声をかけてください。

医学部附属病院 助教 谷口 進 (たにぐちすすむ)



- ①泌尿器科学
- ②前立腺肥大症
- ③HR/HM
- ④香川に来て13年目。今では朝からうどん屋に行く事に対して何の抵抗もありません。
- ⑤HR/HMに興味があるけど、中々手を出せずに躊躇している方、マニアックな会話を

交わりたい方、音の洪水に溺れたい方など居られましたら気軽に声をかけてください。もちろん、泌尿器科学に関する事でも構いません。

医学部附属病院 助教 岩藤 泰慶 (いわどうやすよし)



- ①循環器
- ②心臓核医学
- ③子供と遊ぶこと(ダンゴムシのオス、メスの区別ができるようになりました)
- ④香川医科大学卒業なので香川県に一番長く住んでいます。香川県は入学当時と今ではまったく変わって

います(いいほうに)。北海道とかにも住みましたが、子育てするには便利です。

⑤卒業後の進路選択には悩むと思いますが、仕事は一生続くので、条件がいいところより、好きなことができるところのほうが良いと思います。